

三遠南信地域連携ビジョン 推進会議（SENA）の概要

—三遠南信地域連携ビジョンの実践—

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）



三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）の概要 － 三遠南信地域連携ビジョンの実践 －

平成22年11月12日

三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）



三遠南信地域連携のあゆみについて

三遠南信とは、

愛知県東部の東三河（ひがしみかわ）地域を「三」、

静岡県西部の遠州（えんしゅう）地域を「遠」、

長野県南部の南信州（みなみしんしゅう）

地域を「南信」とした、

3県の県境にまたがる地域です。

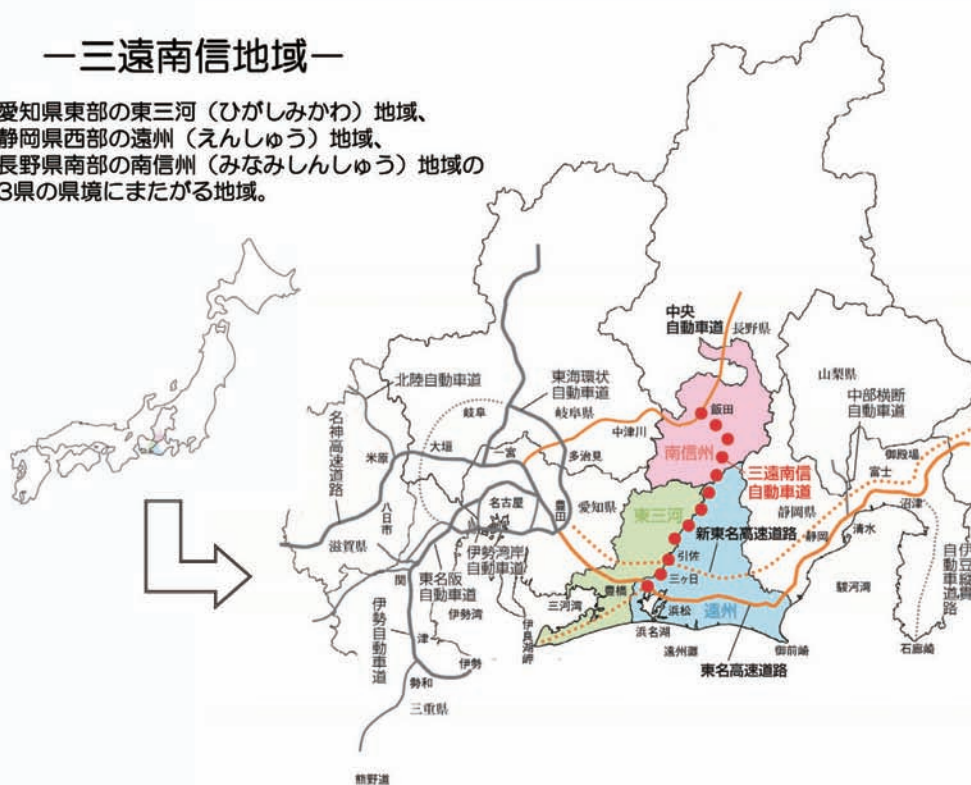
人	口	約 230万人
総	面積	約 6,060平方km
農	業産出額	308,360百万円
製	造品出荷額等	13,797,391百万円
年	間商品販売額	5,882,218百万円
三遠南信地域連携ビジョン策定時点（H20.3）		



1 三遠南信の圏域①

—三遠南信地域—

愛知県東部の東三河（ひがしみかわ）地域、
 静岡県西部の遠州（えんしゅう）地域、
 長野県南部の南信州（みなみしんしゅう）地域の
 3県の県境にまたがる地域。



3

1 三遠南信の圏域②

【凡例】
 ※1は商工会議所がSENA構成員
 自治体がオブザーバー参加
 ※2は自治体がオブザーバー参加
 ※（ ）の数字はSENA構成員の市町村数

南信州地域 (14)

長野県

飯田市・松川町・高森町・
 阿南町・阿智村・平谷村・
 根羽村・下條村・売木村・
 天龍村・泰阜村・喬木村・
 豊丘村・大鹿村

東三河地域 (8)

愛知県

豊橋市・豊川市・蒲郡市
 新城市・田原市・設楽町
 東栄町・豊根村

遠州地域 (5)

静岡県

浜松市・磐田市・袋井市
 湖西市・森町



H22.4.1現在

4

2 三遠南信地域の歴史的つながり

三遠南信地域は、天竜川、豊川の両河川の流域であることから、これらの河川を利用した水運が盛んでした。

また「塩の道」と呼ばれる三州街道（飯田街道）、遠州街道（秋葉街道）、中馬街道などの陸運によっても平野部と内陸部とが結ばれ、交流が活発に行われていました。

これにより、この地域は、文化、経済、信仰など様々な分野において、行政の境界を越えて独自の生活文化圏を形成してきました。

この生活文化圏は、戦国大名による勢力圏の変遷や明治維新による政治的な意図に基づく地域分割にもかかわらず、現在も続いています。



荷物を運ぶ中馬



川合花の舞（遠州 浜松市佐久間）



5

3 広域的な取り組みの経緯

昭和27（1952）年	「天竜・東三河特定地域総合開発計画」（国土総合開発法）
49（1974）年	「天竜奥三河地域総合調査報告」（3県知事会合意に基づく）
60（1985）年	「三遠南信トライアングル構想」（中部経済連合会策定）
62（1987）年	「四全総」により「三遠南信自動車道（高規格幹線道路）」位置づけ
平成 5（1993）年	「三遠南信地域整備計画結果の公表」
6（1994）年	「三遠南信地域整備連絡会議」設立 ① （建設省，長野県，愛知県，静岡県，59市町村，中部経済連合会，飯田・豊橋・浜松商工会議所） 「第1回 三遠南信サミット&シンポジウム」開催
8（1996）年	「三遠南信地域交流ネットワーク会議」設立（59市町村） ②
9（1997）年	「三遠南信地域経済開発協議会」設立（68商工会議所・商工会） ③
17（2005）年	「三遠南信自動車道早期開通期成同盟会」の設立
20（2008）年	「三遠南信地域連携ビジョン」を合意（20年3月策定） 「三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）」の発足
21（2009）年	「三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会」の発足（飯田・豊橋・浜松の3市議会） 「三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）」の事務局体制の強化（浜松市・豊橋市・飯田市の職員で事務局を構成）

※①～③は、SENAの構成員

6

4 三遠南信サミットの歴史

回数	開催日	開催テーマ	開催場所
1	H6. 2.10	三遠南信地域に今、21世紀の風が吹く *「三遠南信サミット&シンポジウム」として開催	浜松市
2	H6.11.21	交流がつくる三遠南信の未来	豊橋市
3	H7.10.11	次代に向けて動く三遠南信 ~地域を変える交流の創出~	飯田市
4	H8.11.22	三遠南信地域の新たな連携と共生に向けて	浜松市
5	H9.11.17	三遠南信地域の新たな連携 ~循環型社会の構築と新たな活力の創造~	豊橋市
6	H10.10. 8	三遠南信の新たなステージをめざして ~交流から参加と連携へ~	飯田市
7	H11. 7.23	人が、物が、そして地域が動く *「三遠南信サミット」と名称変更	雄踏町
8	H12.7.26	絆、そして融合 ~三遠南信地域の明日をめざして~	豊橋市
9	H13.11.8	交流の新たなステージへ ~21世紀 三遠南信地域住民交流の創出~	飯田市
10	H14. 7.24	快適空間・三遠南信 ~元気な観光・交流の新たな創出~	浜松市
11	H15.10.27	まるごとミュージアム・三遠南信 ~魅力再発見からもてなしのまちづくりへ~	豊橋市
12	H16.11.25	新たな歴史の扉を拓く ~三遠南信からの発信~	飯田市
13	H17.11.4	三遠南信・新たな時代の幕開け ~夢街道いよいよ実現へ~	浜松市
14	H18.10.23	三遠南信・圏域の創生をめざして ~つながる 広がる 躍動する~	豊橋市
15	H19.11.14	将来(あす)への展望 ~今、三遠南信地域の新たな協創のとき~	飯田市
16	H21.2.10	三遠南信250万流域都市圏の創造に向けた挑戦	浜松市
17	H21.11.13	日本の県境連携モデルの構築 -三遠南信地域連携ビジョンの実現に向けて-	豊橋市
18	H22.11.12	地域主権時代における県境地域連携モデルの推進 -融合に向けた自発的な地域づくりの実践-	飯田市

H18
道州制において
同じ道州を目指
すことを決議

H19
三遠南信
地域連携ビジョン
を合意

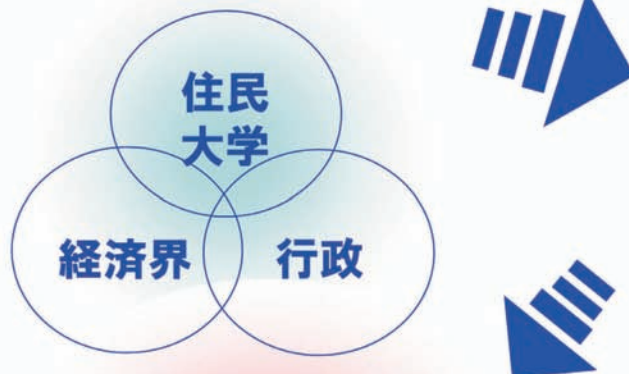
H20
三遠南信
地域連携ビジョン
推進会議の立ち上
げにより本格的な
稼動

7

三遠南信地域連携ビジョンについて

検討委員会

(平成18年10月設置)



三遠南信地域連携ビジョン 平成20年3月策定

<新たな地域振興の指針>

(構成員全員の書面決議)

三遠南信サミットで合意

三遠南信地域連携ビジョン

「目指すべき地域像」

「地域連携事業の方針」

<H19.11.14>



8

1 三遠南信地域連携ビジョンの概要

■三遠南信地域連携ビジョンの将来像

—世界につながる日本の中央回廊—

三遠南信250万流域都市圏の創造

■目指すべき地域像



- ①日本の中央回廊の形成**
太平洋側と日本海側の両地域を東西日本の中心で結ぶ
- ②大伊勢湾環状地域を構成する中核的都市圏の形成**
伊勢湾を中心に産業や文化等の多様なネットワークを構築
- ③流域循環圏の形成**
上下流域が環境や経済をはじめ、広範な分野で有機的にネットワークする「流域循環圏」を構築

■五つの目的

- 道州制や国土形成計画など県境を越える地域づくり制度へのアピール
- 経済活動のグローバル化に対応した県境を越える産業競争力の強化
- 市町村合併による地域構造の変化に対応した広域行政の推進
- 地域連携活動の相乗効果の発揮
- 県境を越えた社会基盤を活かした地域づくり

■目標期間

三遠南信地域連携ビジョンの目標期間は、概ね10年間とし、三遠南信地域の目指すべき将来像と連携事業の方針を定める。

■策定体制

- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENAセナ）
 - ・平成20年11月に立ち上げ、事務局を浜松市に開設
 - ・平成21年4月に豊橋市、飯田市職員が事務局に加わる
- 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENAセナ）の役割
 - ・重点プロジェクトの推進
 - ・重点プロジェクトの評価・見直し
 - ・道州制等の国の動きに対する働きかけ
 - ・NPO法人や企業等が取り組む連携活動に対する支援

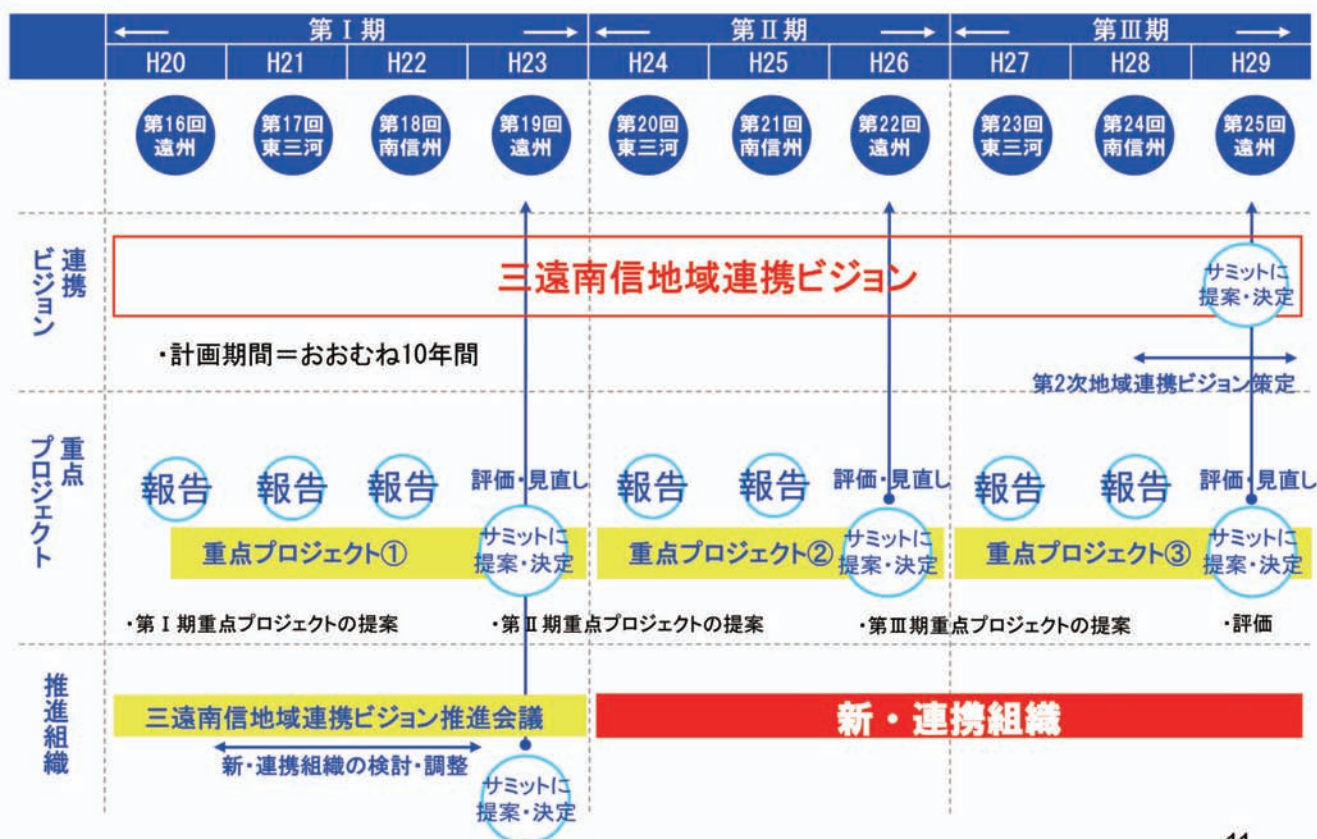
■五つの基本方針

- 中部圏の中核となる地域基盤の形成**
- 持続発展的な産業集積の形成**
- 塩の道エコミュージアムの形成**
- 中山間地域を活かす流域モデルの形成**
- 広域連携による安全・安心な地域の形成**

2 五つの基本方針と重点プロジェクト

連携事業の政策体系			重点プロジェクト	
テーマ	政策の基本方針	推進方針		
三遠南信二五〇万流域都市圏の創造 —世界につながる日本の中央回廊—	中部圏の中核となる地域基盤の形成	人とものの流動促進	1. 中部圏の中核となる地域基盤の形成 ①三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢連絡道路（伊勢湾口道路）構想の実現 ②三河港、御前崎港、中部国際空港、富士山静岡空港の整備と高速道路へのアクセス路の整備促進による国際ゲートウェイ機能の充実 ③リニア中央新幹線の早期実現と飯田駅設置 ④豊橋・浜松環状道路を形成するネットワークの整備促進 ⑤県境を越えるマスコミの連携	
		情報の流動促進		
	持続発展的な産業集積の形成	既存産業の活力増進		2. 持続発展的な産業集積の形成 ①三遠南信ビジネスマッチングの促進 ②国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進 ③特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携 ④三遠南信地域大学フォーラムの設置
		新規産業の創造と特徴ある産業クラスターの形成		
	塩の道エコミュージアムの形成	塩の道エコミュージアムによる文化の発信		3. 塩の道エコミュージアムの形成 ①「塩の道」風景街道の体制づくり ②地域資源を活かす鉄道の有効活用 ③海外への観光情報発信と外国人観光客誘致の促進 ④三遠南信アンテナショップの開設
エコミュージアムのプラットフォームづくり				
中山間地域を活かす流域モデルの形成	自然資源の循環モデルの形成	4. 中山間地域を活かす流域モデルの形成 ①「健全な水・物質循環」の構築に向けた共同プロジェクトの推進 ②上流域と下流域の自治体が連携した流域定住の推進体制の整備		
広域連携による安全・安心な地域の形成	生活環境の維持と質的向上	5. 広域連携による安全・安心な地域の形成 ①医療分野の県境を越える連携の促進 ②三遠南信地域内住民に対する公共施設の広域利用推進 ③県境を越える防災体制の強化		
	多文化共生の基盤づくり			
	広域的な防災体制の充実化			

3 三遠南信地域連携ビジョン スケジュール



11

4 三遠南信地域連携ビジョン推進会議 (SENA)

目的

三遠南信地域連携ビジョンのテーマである「三遠南信250万流域都市圏の創造」のため、東三河地域、遠州地域及び南信州地域の県境を越えた地域連携を推進し一体的な圏域の発展を目指す。

事業

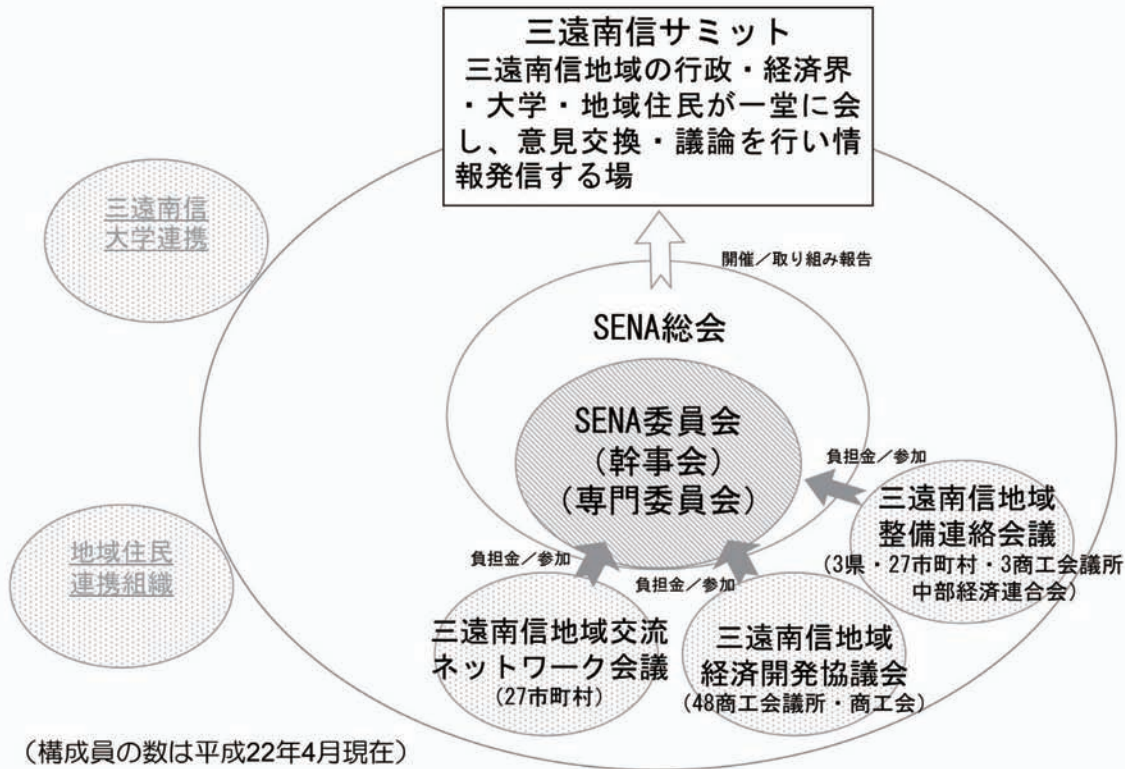
- (1) 三遠南信サミットの開催
- (2) 連携ビジョンに定めた重点プロジェクトの推進
- (3) 重点プロジェクト推進状況の評価
- (4) 道州制に関する国等への働きかけ
- (5) NPO法人、企業等が取り組む三遠南信地域の連携に資する活動に対する支援
- (6) 三遠南信地域の一体的な圏域を確立するための組織の検討
- (7) その他SENAの目的達成に必要な事業

構成員

- (1) 三遠南信地域交流ネットワーク会議の構成員
- (2) 三遠南信地域経済開発協議会の構成員
- (3) 三遠南信地域整備連絡会議の構成員
 - ・連携ビジョンの推進に適切な助言を得るため、アドバイザーを置くことができる。
 - ・必要に応じて、オブザーバーを置くことができる。

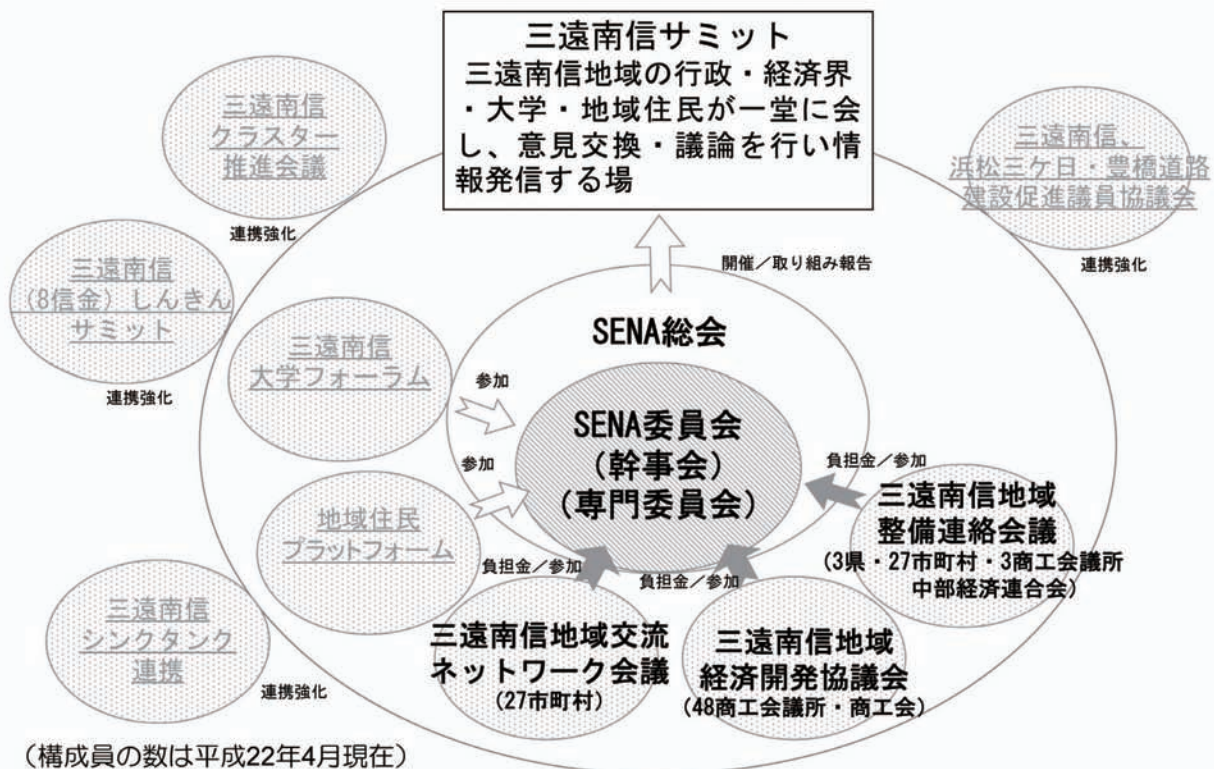
12

5 SENA組織体制（1）（現在のすがた）



13

SENA組織体制（2）（目指すべき姿）



14

三遠南信地域の連携・交流事業の概要

1 第17回三遠南信サミット2009in東三河の概要①

日時：平成21年11月13日（金）

場所：ホテル日航豊橋

主催：三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）

※開催地の意見を反映させるため、三遠南信南信サミット専門委員会を設置

1 各種総会／役員会

三遠南信地域経済開発協議会役員会

三遠南信地域整備連絡会議総会

三遠南信地域住民セッション

2 全体会

・基調講演 中央大学経済学部教授 山崎 朗 氏

「変動と変化への地域的対応」

・報告1 豊橋技術科学大学教授 大貝 彰 氏

「県境を跨ぐエコ地域づくり戦略プランについて」

・報告2 サイエンスクリエイト代表取締役専務 中野 和久 氏

「農商工連携について」

3 分科会

「道」「技」「風土」「山・住」

4 報告会 分科会成果報告、サミット宣言

5 交流会 三遠南信地域物産の試食会



15

1 第17回三遠南信サミット2009in東三河 <サミット宣言>②

「連携から融合に向けて、日本の県境連携を先導」

- 1 三遠南信自動車道の早期整備、リニア中央新幹線飯田駅の設置などに向けて、「三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）」を中心に、地域一丸となって提案活動を進める。
- 2 知的・産業クラスターの形成など県境を越えた産学官連携による農商工連携や医工連携の取り組みを進めるとともに、県境を越えた大学・研究機関の連携を通じて次代を担う人材の育成を進める。
- 3 情報発信の機会を創出するとともに、地域資源のネットワーク化やブランド化を進める。
- 4 住民の命を守る医療や防災の連携、美術館や博物館など公共施設の相互利用を進めるとともに、都市部との二地域居住など流域定住推進モデルの形成を進める。



第18回三遠南信サミット2010 in南信州

16

2 第18回三遠南信サミット2010in南信州<概要>

日 時：平成22年11月12日（金）13:00～20:00
 場 所：飯田文化会館・シルクホテル
 テーマ：地域主権時代における県境地域連携モデルの推進
 ー融合に向けた自発的な地域づくりの実践ー
 主 催：三遠南信地域連携ビジョン推進会議（SENA）
 共 催：三遠南信交流ネットワーク会議
 三遠南信地域経済開発協議会
 三遠南信地域整備連絡会議
 後 援：国土交通省・経済産業省・農林水産省
 長野県・静岡県・愛知県



- 1 各種総会／役員会
 三遠南信地域経済開発協議会役員会
 三遠南信地域住民セッション
- 2 全体会 ◆トップ対談
 テーマ「地域主権時代における三遠南信地域の目指すべき姿」
 コーディネーター：（財）東三河地域研究センター 常務理事 戸田敏行 氏
 パネリスト：浜松市長、豊橋市長、飯田市長、
 浜松商工会議所会頭、豊橋商工会議所会頭、飯田商工会議所会頭
- 3 分科会 「道」「技」「風土」「山・住」分野に関する議論
- 4 報告会 分科会成果報告、サミット宣言
- 5 交流会 三遠南信「地酒」サミット（地酒の試飲会）

17

3 広域地方計画先導事業の実施①

○平成21年度広域地方計画先導事業

全国から31件の応募があったなかで、採択（15件）

- 事業名 「県境を越えた広域的な地産地消圏の形成プロジェクト」
- 事業主体 三遠南信地域連携ビジョン推進会議（受託者）
- 委託者 国土交通省国土計画局
- 事業費 14,510,036円（決算額）
- 事業期間 1年間

■広域地方計画先導事業の趣旨

国土形成計画広域地方計画に関わるブロック独自の地域戦略について、地域に根ざした行政、経済団体主体の実践活動を通じた実現が図られるよう、地域発意に基づく先導的なソフト事業の立ち上げを支援するもの

国土形成計画の中部圏広域地方計画では、リーディングプロジェクトの一つに「三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト」が位置づけられている。

18

3 広域地方計画先導事業の実施②

■課題認識

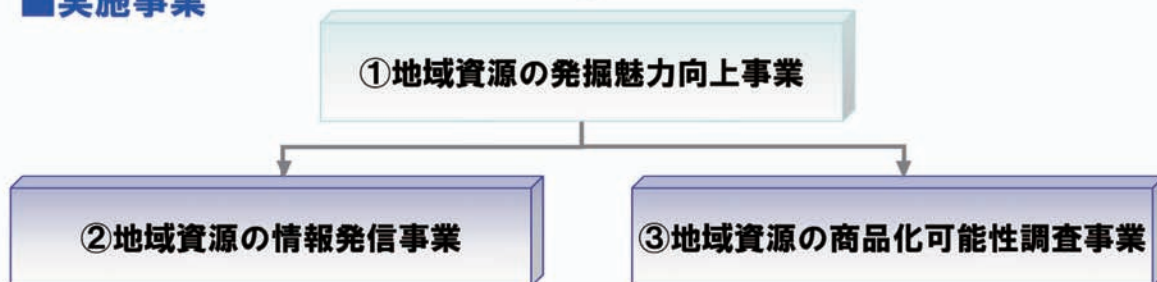
圏域に農林水産、文化、自然・観光など多種多様な地域資源が存在する一方で、知名度・認知度が低く、圏域内で未だに知られていない隠れた地域資源も存在する。

■事業目的





地域資源の循環による県境を越えた広域的な地産地消の実現

- ①情報発信による地域内における三遠南信地域の知名度および認知度の向上
- ②三遠南信地域資源の魅力向上、差別化による三遠南信ブランドの創出
- ③コミュニティ・ビジネスの育成による中山間地域の活性化

■実施事業



19

<p>① 「三遠南信地域資源」発掘・魅力向上事業</p> <p>【目的】三遠南信地域の独自ブランド創出のための研究</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①三遠南信地域ブランド研究会を設置 ②地域資源調査の実施 ③地域資源のデータベースの作成 ④データの分析・研究 	<p>【取り組み】地域資源の情報収集→分類→体系化</p> <p>地域資源をカテゴリ別大分類し、認知、訪問経験、訪問希望を調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然資源…浜名湖、御前崎、茶臼山高原、など ・人文資源…豊川稲荷、浜松城、鳳来寺、など ・食資源…三ヶ日ミカン、浜名湖うなぎ、五平餅、豊川いなり寿司など ・伝統工芸…豊橋筆、飯田水引、鳳来寺硯など ・祭事…浜松まつり、手筒花火、豊橋まつりなど ・その他資源…ラグーナ蒲郡、豊橋の路面電車 など 
<p>② 「三遠南信地域資源」情報の発信事業</p> <p>【目的】圏域内で地域資源情報を発信し、圏域意識を高めるとともに、三遠南信地域の知名度・認知度の向上を目指す。</p> <p>【内容】三遠南信地域資源情報を圏域内へ発信</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「(仮)地域資源情報マップ」を作成 ②情報ツール(web、紙媒体)を作成 ③地域拠点へ配布等情報発信 	<p>【取り組み】</p> <p>情報発信 → </p> <p>情報誌の作成</p> <p>「三遠南信ガイドブック」 </p>
<p>③ 「三遠南信地域資源」の商品化可能性調査事業</p> <p>【目的】新たな特色を付加させた一次・二次商品の商品化に向けた市場調査および商品の販売拠点の設置に向けた社会実験の実証データの蓄積。</p> <p>【内容】付加価値を持たせた地域資源の商品化の可能性調査と商品価値を検証</p> <ol style="list-style-type: none"> ①小売業者・卸売業者の視点による商品評価会の実施と商品価値の把握 ②消費者の視点による社会実験 体験コーナー設置 アンケートの実施、地域情報コーナー設置 	<p>【取り組み】</p> <p>◆商品評価会</p> <p>日時：3月12日(金)</p> <p>場所：ホテルコンコルド浜松</p> <p>商品出展15社・58品目、参加事業者30社</p> <p>◆三遠南信「塩の道」物産展</p> <p>～ええじゃないか市～ 来場者4,103人</p> <p>日時：3月20日(土)・21日(日)</p> <p>場所：ジャスコ豊橋南店 商品提供事業者 42社 99品目</p> 

20

4 三遠南信地域社会雇用創造事業

- 1 事業費 7億円（平成22年3月24日交付決定）
内閣府の「地域社会雇用創造事業」に応募し、採択（53事業者の応募のうち、採択は全国12事業者）
- 2 事業期間 平成22年3月24日から平成24年3月31日まで
- 3 事業目的 次の3分野において、社会起業インキュベーション事業及び社会的企業人材創出・インターンシップ事業を行うことにより、雇用創造のネットワーク・システムを構築し、社会的企業による継続的な雇用創造を図る。
 (1) 自然資源を活用した雇用創造分野（森林ビジネス、地域資源活用ビジネス）
 (2) 地域づくりによる雇用創造分野（まちづくりビジネス、中山間地域ビジネス）
 (3) 安心安全を確保するための雇用創造分野（食農ビジネス、福祉介護・医療ビジネス）
- 4 事業内容 **【社会起業インキュベーション事業】**
 三遠南信地域においてビジネスインキュベーションの実績を持つ諸機関と連携し、「企業内から発生する起業」、大都市及び全国へ流出した人材による「ふるさと起業」、地域内居住者による「地域内発起業」及び全国からの「Iターン起業」を支援します。
数値目標：起業支援者数 90人
【社会的企業人材創出・インターンシップ事業】
 三遠南信地域において社会活動の実績を持つNPO法人等と連携し、非就業者（期間雇用者等）、学生・シニアなどを対象としたインターンシップ事業を行い、社会的企業への就職を支援します。
数値目標：インターンシップ研修修了生 800人
- 5 事業主体 三遠南信地域連携ビジョン推進会議

21

5 三遠南信地域の取り組み（各地域における連携事業等）

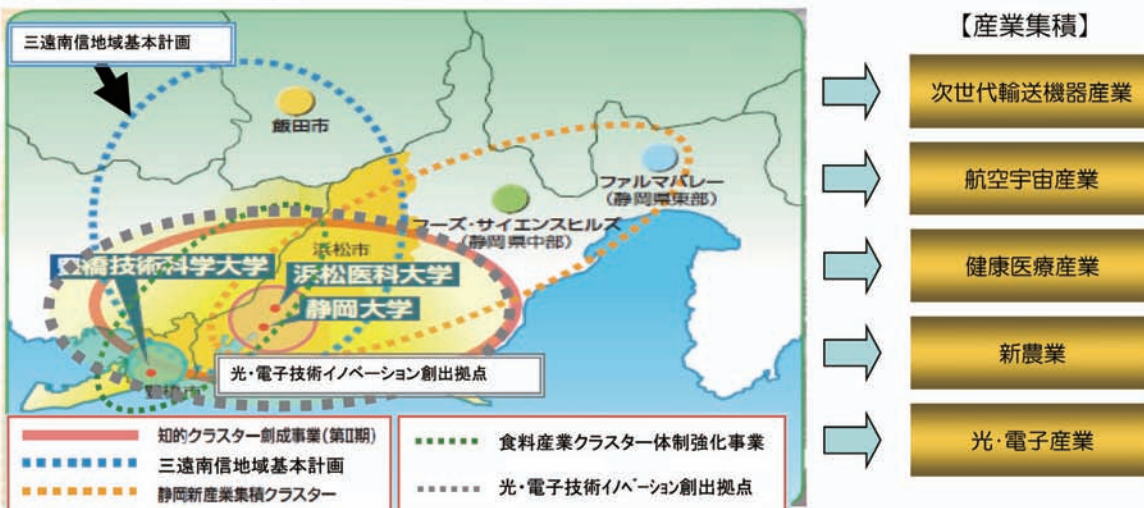
（1）産業連携

◆光・電子技術イノベーション創出拠点（地域中核産学官連携拠点）H21.6.18採択

新産業創成のため、次代を担う世代の理数教育や産業支援人材を含めた、中 長期的な人材育成を徹底的に行うとともに、垂直型からネットワーク型への産業構造の転換を進める。（浜松・東三河地域）

◆三遠南信地域基本計画 H22.3.25同意

ものづくり基盤技術と先端光・電子技術を活かして新産業の創出を図り、10年後の基幹産業化を目指す。（浜松市、豊橋市、飯田市）



22

(2) 三遠南信自動車道等の建設促進

三遠南信自動車道
 延長：約100kmの高規格幹線道路
 区間：長野県飯田市山本～静岡県浜松市北区三ヶ日町

提案活動の状況

- ①三遠南信道路建設促進期成同盟会
 【構成】県、市町村
 ・平成22年6月に提案活動
- ②三遠南信自動車道早期開通期成同盟会
 【構成】商工会議所・商工会
 ・平成21年9月にキャンペーン活動を実施
- ③三遠南信、浜松三ヶ日・豊橋道路建設促進議員協議会
 【構成】三遠南信地域市町村議会
 ・平成21年6月に提案活動
- ④3市要望（平成21年10月）
 ・豊橋市長、飯田市長、浜松市長が国交省に提案活動

○三遠南信自動車道
 平成23年度 鳳来IC-引佐JCT間開通予定
 平成23年度 現道区間：国道152号 向井万場拡幅
 （豆嵐橋、豆嵐トンネル）開通予定

○新東名高速道路
 平成24年度 御殿場JCT-引佐JCT間 開通予定
 平成26年度 引佐JCT-豊田東JCT間 開通予定

○引佐連絡道路
 平成24年度 引佐JCT-三ヶ日JCT間 開通予定



「浜松市北区引佐町引佐北IC付近から
 新東名JCを臨む」

23

(3) 防災・医療連携

①浜松市消防ヘリコプターの広域運用

- ・平成22年5月運用開始（浜松市域内）
- ・災害救助や遠距離の救急搬送
- ・浜松市と隣接市が消防ヘリコプターに関する応援協定を締結
 （平成22年3月30日締結、7月施行）
- ・浜松市と豊川市、蒲郡市、田原市が航空消防に関する応援協定を締結
 （平成22年6月29日締結、7月施行）



三遠南信地域での活躍も期待される
 浜松市消防ヘリコプター「はまかせ」

②三遠南信災害時相互応援協定

- ・平成8年7月に締結
- ・平成17年11月に改定（災害時の初動体制の迅速化等の見直し）
- ・災害時に救出・救護・応急や職員派遣、資機材・物資の供給
- ・毎年、災害備蓄品の相互応援供給訓練や情報伝達体制の確認

◆平成22年7月16日 飯田市からの給水車派遣要請があり、
 応援協定に基づき給水車が派遣された。

- ・浜松市 2トン給水車1台、4トン給水車1台
- ・袋井市 2トン給水車1台 ・磐田市 1トン給水車3台
- ・豊橋市 2トン給水車1台 ・田原市 2トン給水車1台
- ・豊川市 1.8トン給水車1台



給水活動の様子（飯田市内）

24

(4) 経済団体等との交流・連携①

①三遠南信「街道浪漫」クイズラリーの実施

- ・目的 三遠南信地域の産業や特産品をPRするため
- ・期間 平成22年7月1日(木)～11月30日(火)
- ・内容 3圏域にそれぞれ10カ所クイズの出題地点設定
30カ所すべてに解答する街道浪漫満喫コース
(抽選で5万円相当のペア宿泊券と旅行券 3組)
各圏域を3カ所計9カ所に答える街道ぶらり散策コース
(各地域の特産品)
- ・主催 三遠南信地域経済開発協議会
- ・共催 三遠南信地域交流ネットワーク会議
三遠南信地域整備連絡会議
- ・後援 愛知県・静岡県・長野県
三遠南信地域連携ビジョン推進会議



②大学フォーラム準備検討会

平成22年7月23日、平成22年9月28日に、愛知大学学長、豊橋科学大学副学長、静岡文化芸術大学副学長、東三河地域研究センター戸田常務理事にお集まりいただき、大学フォーラム設置に向けた第1回の検討会を開催

- 目的 三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する大学フォーラム設置のため
方向性 現在各地区にある大学ネットワークを拡大する方向で検討
平成22年度末までに中間取りまとめを行う

25

(4) 経済団体等との交流・連携②

③しんきん南信州地域研究所開設・三遠南信地域シンクタンク連携記念シンポジウム

- ・平成21年5月23日に飯田市で開催
- ・ビジョンの推進・評価、プロジェクトに向けた調査
- ・3地域のシンクタンクが協定の締結
東三河地域研究センター
静岡県西部地域信金しんきん研究所
しんきん南信州地域研究所



三遠南信地域シンクタンク連携記念シンポジウム

④第3回三遠南信(8信金)しんきんサミット

- ・しんきん講演会・シンポジウム
平成22年11月13日(土) 11:00～16:00
会場: 飯田市公民館・飯田市中央公園
- ・三遠南信グルメサミット(しんきん物産展)
平成22年11月13日(土) 11:00～16:00
会場: 飯田市中央公園



飯田信用金庫 浜松信用金庫
磐田信用金庫 掛川信用金庫
遠州信用金庫 豊橋信用金庫
豊川信用金庫 蒲郡信用金庫

26

(4) 経済団体等との交流・連携③

⑤「Beauty うつくしいもの」の浜松上映

- ・平成21年8月15日～28日
- ・シネマイーラ(浜松市中区田町)で上映
- ・企画などをNPOがコーディネート
- ・長野県南部の南信州にある大鹿村(おおしかむら)に伝わる村歌舞伎を題材にした映画

⑥第16回三遠南信ふるさと歌舞伎交流大鹿大会

- ・平成21年9月13日、大鹿村
- ・湖西歌舞伎保存会、豊橋素人歌舞伎保存会、大鹿歌舞伎保存会の共演

⑦祭り街道フェスティバル

- ・平成21年9月20日、新野千石平道の駅
- ・主催「祭り街道フェスティバル実行委員会」
- ・長野県阿南町、愛知県豊根村、愛知県東栄町
- ・花祭りが共演

⑧三遠南信交流展

「ミュージアム・サミット ー美の競演ー」

- 平成21年10月10日～11月15日、豊橋市美術博物館
- ・菱田春草／飯田市美術博物館
- ・秋野不矩／秋野不矩美術館
- ・岸田劉生／浜松美術館
- ・中村正義／豊橋美術博物館
- 平成22年9月11日～10月11日、飯田市美術博物館にて特別展「ミュージアム・サミット 美の競演 三遠南信交流展」開催



祭り街道フェスティバルちらし



ミュージアムサミットちらし

27

(4) 経済団体等との交流・連携④

⑨三遠南信教育サミット

- ・3地域の教育関係者が参加。基調講演や事例発表などを実施
- ・第14回
平成21年7月10日 場所：浜松名鉄ホテル
- ・第15回
平成22年7月16日(金) 場所：グランビューオオミヤ

⑩第4回ビジネスマッチングフェアinHamamatsu2010

- ・中小企業にビジネスマッチングの場を提供。
- ・販路拡大・受注 確保などビジネスチャンス創出の機会創出。
- ・遠州地域以外からも参加している。
- ・平成22年7月21日～22日
- ・浜松市総合産業展示館

⑪峠の国盗り綱引き合戦

- ・浜松市水窪地区と飯田市南信濃地区の交流イベント
- ・平成22年10月24日(日)
- ・場所：兵越峠



第14回三遠南信教育サミット



第24回峠の国盗り綱引き合戦

⑫豊橋・浜松・飯田中学生交流

⑬第12回三遠南信文化交流 合唱のつどい

⑭三遠南信女性交流事業(浜松・豊橋・飯田の41団体)

⑮第13回三遠南信地域資料展(豊橋図書館)

⑯蝉しぐれの盆(三遠南信地域の念仏踊り)

⑰南信州秋キャンペーンin浜松&豊橋

28

(5) 情報発信事業

- ① SENAホームページ
(三遠南信地域連携ビジョン推進会議)



平成21年11月開設

- ② 三遠南信エリア情報
(三遠南信地域交流NW会議)



平成22年2月リニューアル

- ③ 三遠南信紀行／中日新聞の特集記事



- ④ 東三河・南信レター（遠州版）

- ⑤ 三遠南信見聞録／南信州新聞社の特集記事

29

6 国土形成計画における当ビジョンの位置づけ

- ① 国土計画の変遷

- | | | |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国総合開発計画
(昭和37年～)
開発基調・量的拡大の計画 | → | <ul style="list-style-type: none"> 国土形成計画
(平成20年)
成熟社会型の計画 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 法律改正による抜本見直し、開発中心からの転換 | | |

- ② 国土形成計画

- ・ 全国計画と全国8ブロックごとの広域地方計画
- ・ 地方公共団体からの提案制度、パブリックコメント

- ③ 中部圏広域地方計画

- ・ 圏域 長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の5県
- ・ 計画期間 21世紀前半期を展望しつつ、おおむね10か年
- ・ 平成21年8月に国土交通大臣の認定
- ・ 14のリーディングプロジェクトのひとつとして、
「三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト」を位置づけ

30

中部圏広域地方計画の構成概要

区域：長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の5県（人口：約1,720万人、域内総生産：約77兆円）
中部圏広域地方計画協議会（会長：神田真秋 愛知県知事） ※平成21年6月11日第2回協議会時点

(県・政令市)		(市長会・町村会)		(隣接地方公共団体)		(経済団体)	
長野県知事	静岡県市長	東海市長会会長(鳥羽市長)	富山県知事	中部経済連合会会長		中部経済連合会会長	
岐阜県知事	浜松市長	東海四県町村会代表者(八百津町長)	石川県知事	東海商工会議所連合会会長		東海商工会議所連合会会長	
静岡県知事	名古屋市長		福井県知事	長野県商工会議所連合会会長		長野県商工会議所連合会会長	
愛知県知事			滋賀県知事	静岡県商工会議所連合会会長		静岡県商工会議所連合会会長	
三重県知事				(国の地方支分部局長)			

キーコンセプト

ものづくりと環境貢献で
日本のロータリーとして
世界のまんなかへ

戦略目標

- 中部圏の資源を活かした国内外の多様な交流の拡大
- 世界のものづくりの中心地としての産業競争力の強化
- 持続可能な環境共生社会を実現する環境先進圏の形成
- 誰もが生き生きとして暮らせる地域社会の実現
- 安全・安心で災害にも強い地域づくり

プロジェクト

1 ものづくり産業の競争力強化PJ	8 農山漁村の活性化PJ
2 次世代産業イノベーションPJ	9 多文化共生先進圏づくりPJ
3 低炭素社会実現PJ	10 暮らしの安心・快適PJ
4 いきもの共生PJ	11 文化継承・創造PJ
5 国際ゲートウェイ中部PJ	12 災害克服PJ
6 まんなか巡り観光交流PJ	13 三遠南信流域都市圏活力向上PJ
7 高次都市機能・連携強化PJ	14 伊勢湾再生PJ

(他圏域との連携プロジェクト)

- 1 東北圏・首都圏連携PJ
- 2 北陸圏・近畿圏連携PJ

(北陸圏との連携プロジェクト)

- 1 まるっと北陸・中部観光魅力増進PJ
- 2 広域物流ネットワーク(日本海～太平洋)構築PJ
- 3 環白山・環北アルプス広域エコロジーPJ
- 4 広域防災・災害応援ネットワークPJ

13. 三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト

目的

- 三遠南信地域は、高度な産業が集積する地域である一方、中山間地域では、人口減少・少子高齢化傾向が著しく、伝統にはくまられた地域文化や、地域コミュニティの維持が課題となっている。こうした課題を解決し自立的な圏域を創造するため、「三遠南信地域連携ビジョン」の実現に向けた取組等を推進する。
- 三遠南信流域都市圏での取組を天竜川流域圏全体へも波及させることができるよう、天竜川上流部との交流・連携に取り組むほか、天竜川流域の保全に向けて山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理に取り組む。

具体的取組

(I) 三遠南信地域連携ビジョンの推進

人・モノ・情報の流動を進め、自立的な地域の創造を支える地域基盤を形成

● 県境を越えた流域圏の交流・連携を促進する道路ネットワークの必要な整備を推進する。

● 県境を越えたメディアの連携等により、更なる交流や企業連携の促進を図る。

【主な取組】
 ・三遠南信自動車道
 ・県境を越えたメディアの連携 等

自然資源の循環を回り、中山間地域を活かす流域モデルを形成

● 健全な水・物質等の自然資源の循環を図るため、山地から海岸までの一貫した総合的な土砂管理の取組等を推進する。

● 新たな交流を生む流域モデルを形成し、住民の生活環境の維持と質的向上を図る。

【主な取組】
 ・佐久間ダム ・小浜ダム 等

広域連携による安全・安心な地域を形成

● 広域連携による安全・安心な地域を形成するため、県境を越えた医療・福祉サービスの連携促進や県境を越えた防災体制の整備等を推進する。

● 上下流一環の総合土砂管理イメージ

(II) ビジョンを後押しするための天竜川流域における連携した取組の推進

● 健全な水・物質循環の構築に資する水源地域の保全・活性化のため、多様な主体による連携を促進する。

【主な取組】
 ・諏訪湖水質保全計画の推進 等

<http://www.sena-vision.jp/>

三遠南信地域連携ビジョン推進会議

(SENA : San-En-Nanshin-Area-Relationship-Vision-Progressive-Conference)

〒430-8652

静岡県浜松市中区元城町103-2 浜松市企画課内（浜松市役所本館5階）

TEL 053-457-2242 / FAX 053-457-2248 / E-mail : sena@clear.ocn.ne.jp